救急対応手順（イメージ）

入所者の具合が悪くなったとき

□　入所者の状態が、かかりつけ医との事前相談時に予想された、施設職員で対応可能な状態かどうかを確認

⇒　対応可能であれば、指示どおり対応する

□　施設責任者等への緊急連絡

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 職員名 | 電話番号① | 電話番号② |
| 例）施設長 |  |  |  |
| 例）看護職員 |  |  |  |
|  |  |  |  |

（対応の仕方が不明な場合等）

□　かかりつけ医・協力医療機関に連絡し、指示を受ける

⇒　入所者の最近の医療機関の受診状況の確認

⇒　かかりつけ医・協力医療機関等連絡先

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 医療機関名 | 担当医師 | 電話番号 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

⇒　看取り対応や延命治療等に関する希望の有無を確認

□　入所者家族に連絡　（状況報告・治療にかかる意思確認等）

⇒　入所者ごとの緊急連絡先（⇒救急医療情報提供シート等で確認）

※連絡した旨を救急医療情報提供シートに記録する。

**１１９番通報（救急要請）**

**かかりつけ医の指示通り対応**

＊かかりつけ医等と相談の上、可能な範囲で独自の搬送手段（施設が所有する車両・医療機関が所有する搬送車両・患者等搬送事業者（民間救急車）・介護タクシー等）により医療機関に搬送することを検討する。

＊かかりつけ医と相談の上、可能な範囲で搬送先医療機関を確保してから119番通報することが望ましい。（医療機関に連絡し、受入可否の結果は救急医療情報提供シート等に記録しておく。）

東京民間救急コールセンター

０５７０－０３９－０９９　＊ナビダイヤルは24時間無休

◎かかりつけ医と連絡を取れない場合

＃７１１９　または　１１９番通報（救急要請）

救急要請を行う時

①１１９番通報から救急隊施設着まで

□　１１９番通報

【通報の際の応答例】

１．（消防庁）「火事ですか、救急ですか」

（通報者）「救急です」

２．（消防庁）「そこは何（区市）何町ですか」

（通報者）「○区×町○―○―○　△△ホームです」

３．（消防庁）「どうしましたか」

（通報者）「○歳（性別）の入居者は、意識がありません」

※ 通報者の名前の他、非通知の電話で通報をした場合は、電話番号を聞かれる場合もある。

※ 上記通報後、現場に向かう救急隊から、より詳細な情報聴取・応急手当指導のための電話が入るので、対応可能な体制をとっておく。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | 電話番号 | 所在地 |
|  |  |  |

□　応急手当の実施

⇒　ＡＥＤの設置場所等

□　施設内に周知

⇒　事務所や守衛等

|  |  |
| --- | --- |
| 部署名等 | 電話番号・内線 |
|  |  |
|  |  |

□　救急隊及び医療機関に伝える情報の整理

「救急医療情報提供シート」等に記入

介護記録・看護記録、かかりつけ医による診療情報提供書（紹介状）、お薬手帳等の用意

□　救急車同乗の準備

保険証・診察券・現金等

②救急隊 施設着～医療機関着

![C:\Users\T0513351\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\CY4M52V5\Emergency-Rescue-Ambulance-by-Merlin2525[1].png]()

　救急隊　施設着

□　施設の開錠

　　救急隊の誘導

□　入所者の状況報告

　救急車　施設発

□　状況のわかる施設職員が救急車に同乗

　※持参するもの⇒「救急医療情報提供シート」等、介護記録・看護記録、

かかりつけ医による診療情報提供書（紹介状）、

お薬手帳、保険証、診察券、現金等

　※施設の職員体制上困難等の事情により職員が同乗しない場合は、救急隊に必要な情報提供等を行うとともに、その後も救急隊や医療機関と連絡を取り合える体制を整えておく。

□　搬送先病院を入所者家族に連絡

③救急車　医療機関着以降

□　同乗した職員は、医療機関職員の指示により、受診受付、医師・看護師に

状況説明

入所者家族に状況説明

施設に適宜状況報告

□　受診後、入院手続き・施設に戻る手続き等